

# 6306A

## 1) 仕様

機械落径	27.0mm
機械厚み	5.2mm
テンプレ振動数	21,600回/時
自動巻	
カレンダー（日付・曜日・曜文字和英切換機構、リュウズ回転式日曜修正装置、秒規正装置付）	

## 2) 特長

- 豊富な機能を有した紳士用腕時計  
紳士用腕時計としての必要な機能を豊富に備え、さらに新外装構造の採用により、デザインバラエティを富ませた、紳士用腕時計です。
- 信頼性の高いムーブメント  
61系で確立した高精度と高い安定性をさらに追及した信頼性の高いムーブメントです。
- 簡単な操作の日曜修正装置  
日曜修正はリュウズを回転することにより（右回転一日修正、左回転一曜修正）簡単におこなえます。
- アフターサービスが容易なムーブメント
  - ・新方式のヒゲ外端固定構造の採用
  - ・ネジの共通化
  - ・部品点数の減少
  - ・新規アフターサービス部品の減少
  - ・部品形状、機構の単純化などにより、分解組立を容易にし修理性が一段と向上しました。

## 3) 分解・組立

分解順序 ①→⑤⑧

組立順序 ⑤⑧→①

ムーブメントの分解組立には、61系用の機械台が使用できます。

## 4) 注油

図中で次の記号は、油の種類・量・注油箇所を示します。

### ●種類

- 種類
- 種類
- 種類
- 種類
- 種類

注油は絶対にしないでください。

### ●注油量

- 注油量
- 注油量
- 注油量



ムーブメント表

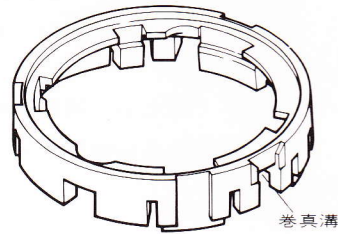
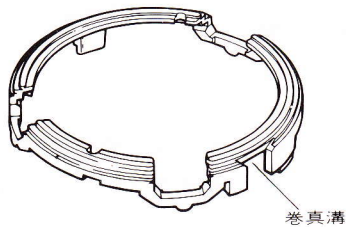
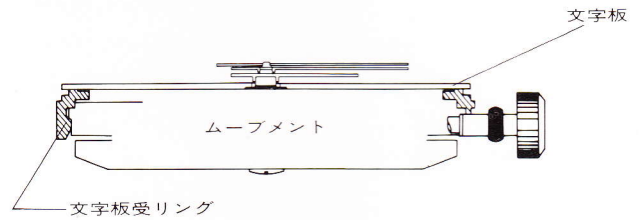


ムーブメント裏

## 6306A 針・文字板・文字板受リング

### 文字板受リング

文字板受リングは、従来の文字板受リングと中枠を一体にして、両方の機能を持たせる構造にしてあるため、ケース組込時の操作が非常に容易になっています。文字板受リングは、大きく分けて次の2つのタイプがあります。

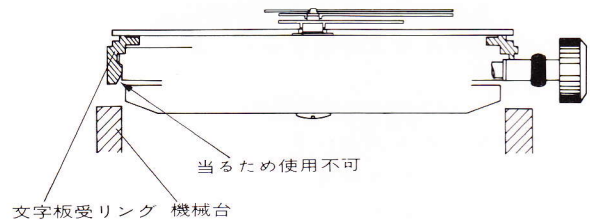


### 分解組立時の注意

従来の文字板受リングとは、分解組立方法が多少異なります。

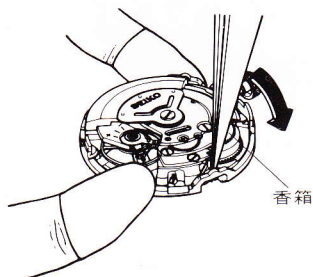
文字板受リングが組み込まれた状態では、右図のように61系用の機械台は、文字板受リングが当るため、使用できませんので、次の要領でおこなってください。

(ワンピースケース、角型ケース、ダイヤルリング付のケースの場合は、従来と同じですので、61系用の機械台が使用できます。)



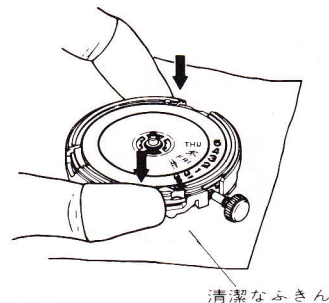
#### 分解時の注意

- ケースからムーブメントを取り出す際は、巻真を抜いてケースを裏返すだけで取り出せます。文字板受リングを持ち上げる必要はありません。
- 文字板と文字板受リングは一緒にはずれます。香箱に近い部分に地板のサライがありますので、図のようにピンセットを入れてこじると一緒にはずれます。



#### 組立時の注意

- 文字板受リングの巻真溝を巻真に合わせて、上から押込んでください。
- 清潔なふきんの上にムーブメントを置いて扱ってください。

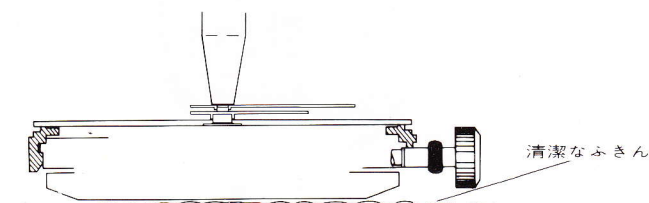


- 文字板受リングの足へ地板の機械落部（上図○の部分）が必ず入るまで押込みます。

### 時・分・秒針

#### 組立時の注意

- 針取付の際は清潔なふきんの上にムーブメントを置いて取付けてください。

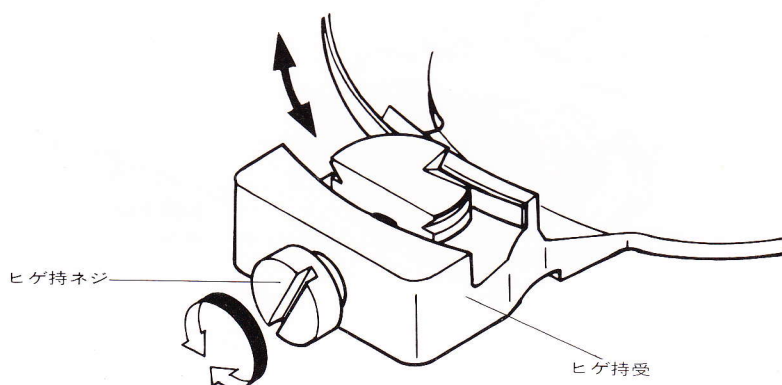


## 6306A ヒゲ外端固定部及び使用ネジ一覧

### ヒゲ外端固定部の構造

セイコーが独自に開発したこのヒゲ外端固定部は、次の特長を持った非常に修理性の高い構造です。

- ① ヒゲ持ネジをゆるめるだけでヒゲの脱着ができる。
- ② ヒゲ外端の形状をくずさずに固定できる。
- ③ ヒゲの水平度が安定して出せる。



### 使用ネジ一覧表

6306A に用いられているネジは、次の9種類です。

形 状	部品番号	名 称 (共通関係)	形 状	部品番号	名 称 (共通関係)
	022257	二番受ネジ		022491	日ノ裏押エネジ
		カンヌキ押エネジ		022160	ヒゲ持ネジ
	022458	回転錘ネジ		022493	一番受ネジ(3本)
	022467	角穴ネジ			テンプ受ネジ
	022468	アングル受ネジ(2本)		022760	日車押エネジ
		伝エ受ネジ(3本)			曜躍制レバーネジ(3本)
		日送車ネジ		022761	文字板止ネジ(2本)

# 6306A カレンダー機構

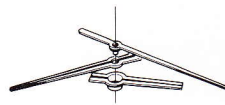
## ▶組立後の点検

- 針取付け後、日曜送り時刻および針のスレがないか確認してください。

時・分・秒針 ①

### 組立時の注意

- 2ページの注意を参照してください。



③ 文字板

④ 文字板受リング  
(中枠も兼ねています)

### 分解組立時の注意

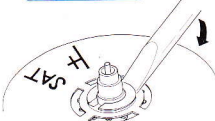
- 2ページの注意を参照してください。

曜車押エ ⑤

## ▶組立後の点検

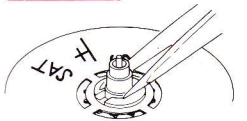
- 曜車押エまで組みましたら、日車、曜車の修正具合を点検してください。

### 分解時の注意



- ドライバーでコジ上げてはずしてください。

### 組立時の注意



- ピンセットで上から押し込んでください。

⑥ 曜車

### 組立時の注意

- 曜躍制レバー⑩と曜車の歯車をかみ合わせてください。

⑦ 日車押エネジ

### ▶組立後の点検

- 針回し具合及び日送り具合を点検してください。

⑧ 日車押エ

⑨ 曜躍制レバーネジ(3本)

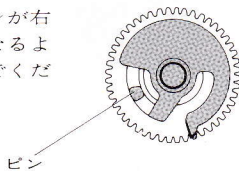
⑩ 曜躍制レバー

⑭ 日送車ネジ

⑮ 曜送ツメ

### 組立時の注意

- 日送車のピンが右図の位置になるように組込んでください。



⑰ 日送車

⑪ 日車

⑫ 日躍制レバー

⑬ 中間車

⑯ 日ノ裏押エネジ

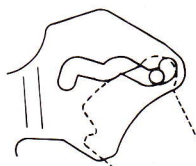
⑰ 日ノ裏押エ

⑱ 筒車

⑳ 切換車

### 組立時の注意

- 切換車のミゾをオシドリのピンに合わせてください。



㉑ 日ノ裏車

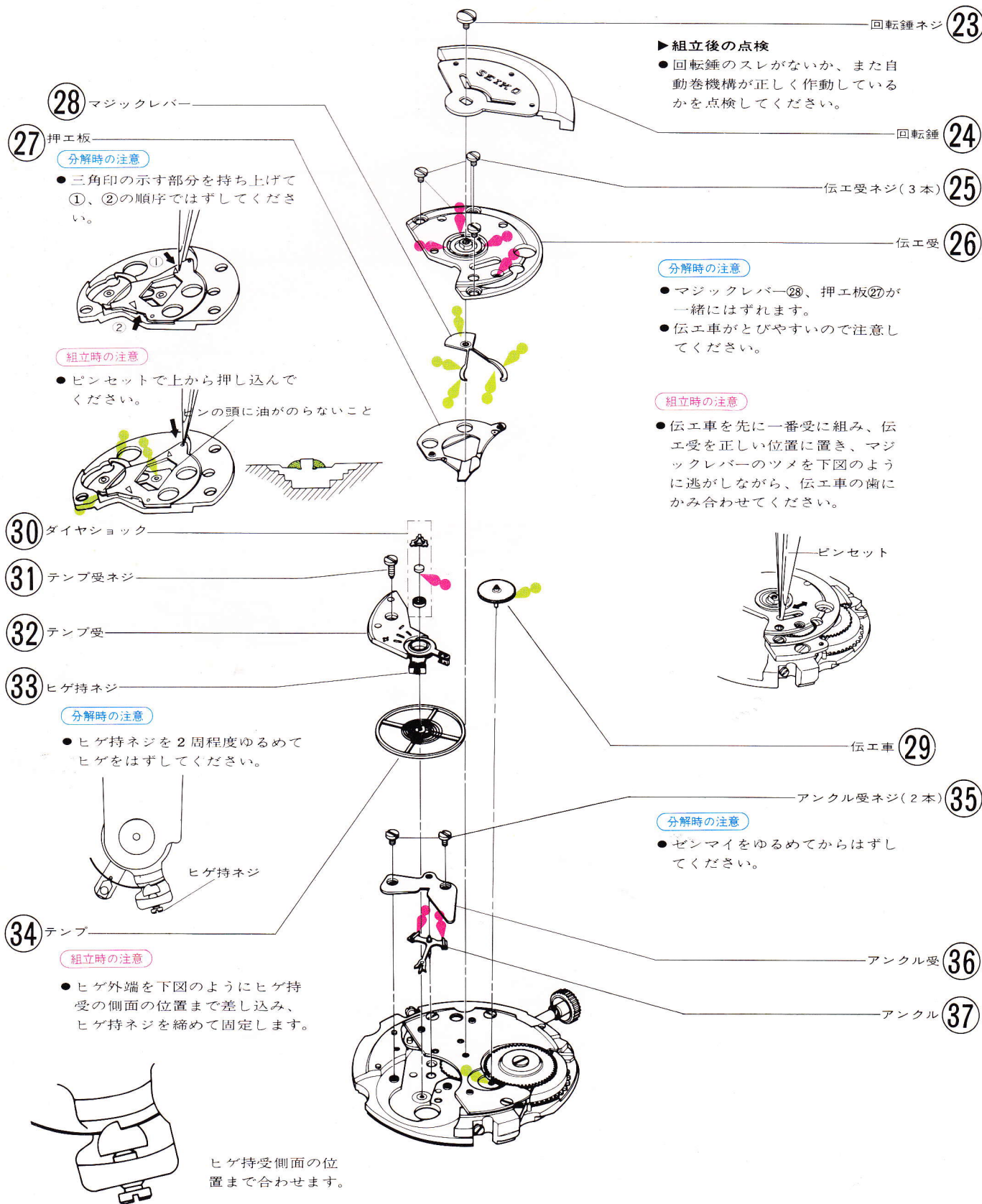
㉒ 筒カナ

文字板止ネジ(2本) ②

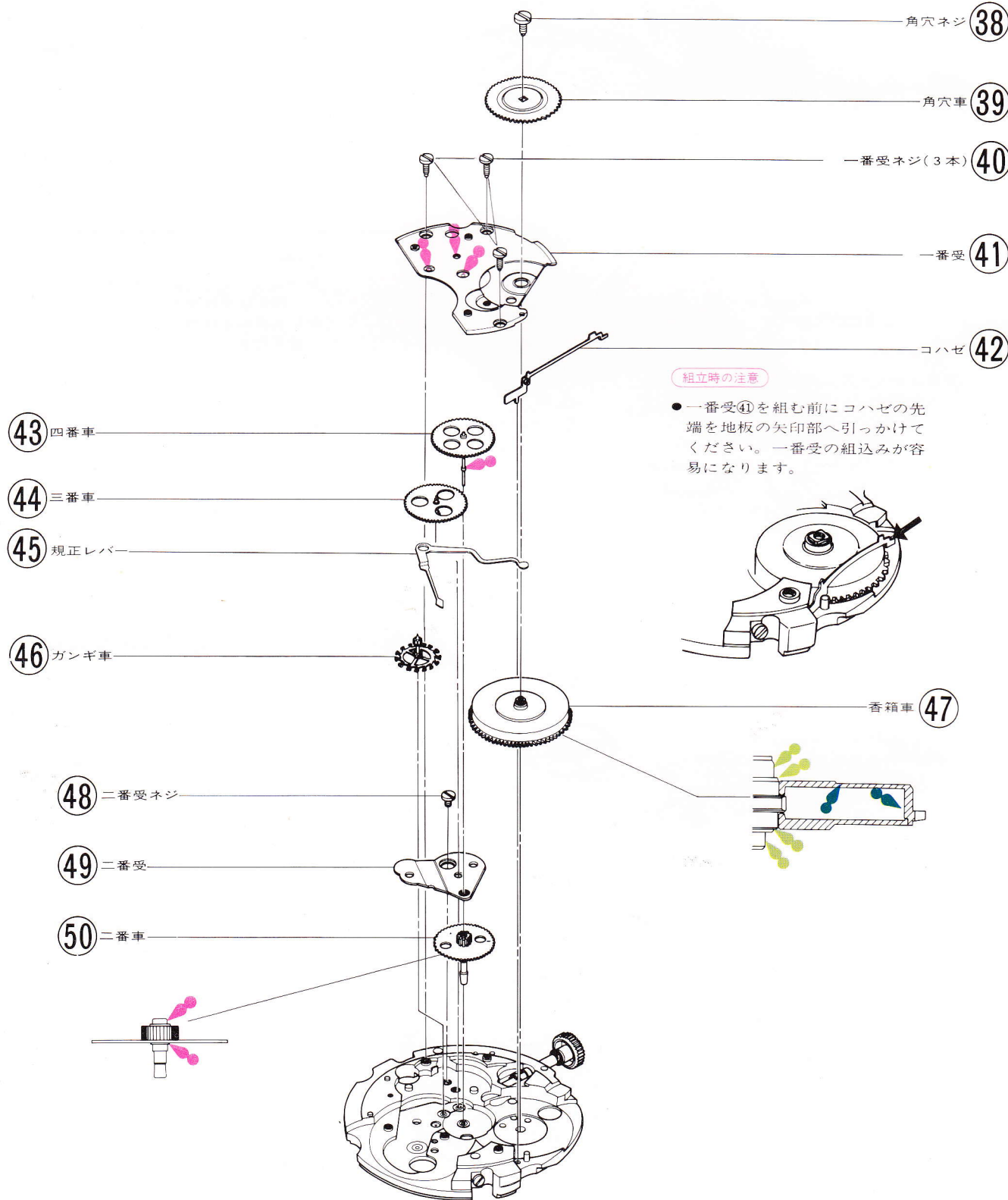
### 分解時の注意

- はずさずに、3周程度ゆるめてください。

# 6306A 自動巻機構・脱進・调速機構

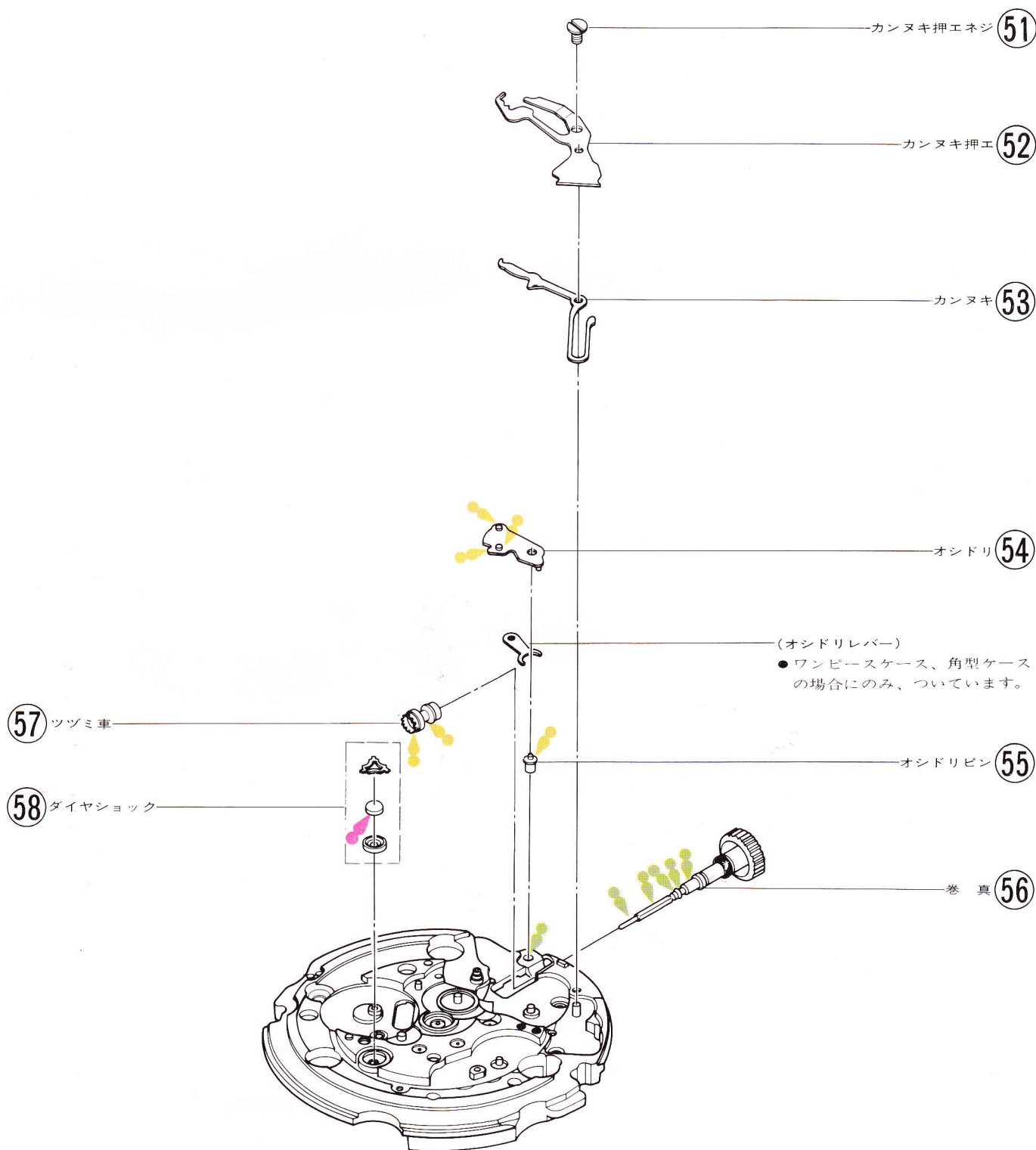


# 6306A 輪 列



**組立時の注意**

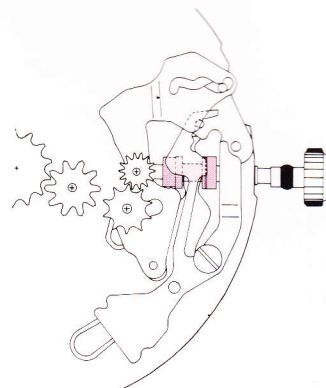
● 一番受④を組む前にコハゼの先端を地板の矢印部へ引っかけてください。一番受の組込みが容易になります。



## 6306A 切換機構

### リュウズ1段目(フリー)

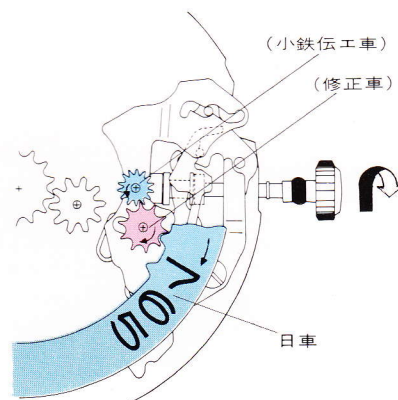
ツヅミ車と小鉄車がかみ合っていないため、リュウズを回しても、力が伝達されません。



### リュウズ2段目(日・曜修正)

#### ①右回転 → 日修正

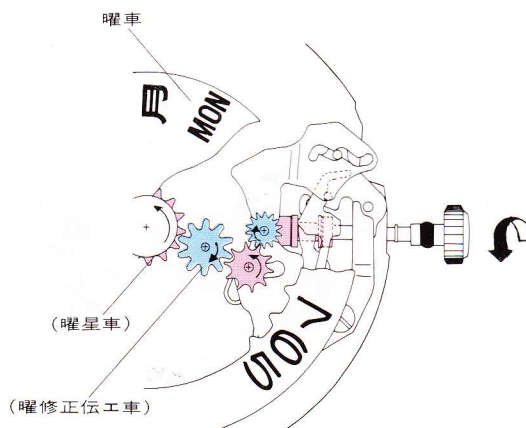
リュウズを右回転(時計方向)させると、修正車が日車側に揺動し、日車とかみ合って日修正がおこなわれます。力の伝達は、リュウズ → ツヅミ車 → 小鉄車 → 小鉄伝エ車 → 修正車 → 日車 となります。



#### ②左回転 → 曜修正

リュウズを左回転(反時計方向)させると、修正車が曜車側に揺動し、曜修正伝エ車とかみ合って曜修正がおこなわれます。

力の伝達は、リュウズ → ツヅミ車 → 小鉄車 → 小鉄伝エ車 → 修正車 → 曜修正伝エ車 → 曜車 となります。



### リュウズ3段目(針合わせ)

オシドリの作動により、切換車が日ノ裏車側に揺動し、小鉄伝エ車が日ノ裏車とかみ合って針合わせがおこなわれます。

同時に切換車の動きが揺動規制レバーに伝えられ、切換車と揺動規制レバーにより、修正車は日車と曜修正伝エ車のどちらともかみ合わない位置になります。

